



追手門学院小学校

TRADITION
×
INNOVATION

2025 Concept Book



追手門学院小学校

〒540-0008 大阪市中央区大手前1丁目3番20号
TEL:06-6942-2231 / FAX:06-6946-6022
<https://www.otemon-e.ed.jp/>



受け継がれる教育と 革新し続ける 伝統を大切に

追手門学院小学校137年の歴史。

それは社会の変化にあわせ、アップデートを繰り返す教育の歴史でもあります。



創設者 高島鞆之助の 思いを受け継ぎ 革新を続ける

追手門学院小学校の歴史は、1888年(明治21)年、時の大阪鎮台司令官であった子爵・高島鞆之助中將の提唱による大阪借行社附属小学校の創設に始まります。現在も「礼儀礼節を重んじる教育」と「時代の変化にあわせ革新する教育」を伝統として大切にしています。それは変わりゆく社会の中で、未来に生きる児童に最も必要とされる教育と考えるからです。本校では、創設者高島鞆之助の思いを今も受け継ぎ伝統と革新の教育を紡いでいます。

郷中教育



本校独自の「郷中(ごじゅう)教育」は、古くは薩摩藩の教育方法に由来します。互いに切磋琢磨し、礼儀正しく品性を高め、年少者を労わるという考え方は、学年混合で行う清掃をはじめ、今も本校の教育に受け継がれています。

追手門学院小学校の沿革

- 1888年 大阪借行社附属小学校として創設
- 1947年 追手門学院小学部と改称、中学部開設
- 1950年 高等学部開設
- 1951年 学校法人追手門学院として組織変更
- 1966年 追手門学院大学開学
- 1969年 追手門学院幼稚園設立
- 1971年 追手門学院小学校と改称
- 1985年 東館竣工
- 1989年 北館竣工
- 1998年 本館竣工
- 2009年 西館竣工
- 2019年 メディアラボ竣工
- 2022年 国際教育センター設立

卒業後も続く校友とのつながり

積極的な同窓会活動も追手門学院の特色です。多数の保護者・卒業生に学校を支えていただいております。西日本最古の歴史を有する、本校ならではの連携体制が整っています。

追手門学院校友会 山桜会(同窓会組織)

本校の前身、大阪借行社附属小学校創設時からの小学校卒業生と、両中・高等学校の卒業生で組織されています。会員数は約4万人を数え、100年を超える歴史があります。会員相互の旧誼を温め、親睦を厚くし、母校の発展に寄与することを目的としています。

[教育理念]

社会有為の人材育成

「創造性を基盤とした高い学力を養い、不屈の体力と意志力を培い、豊かな愛情と気品を具え、愛国の熱情をたたえつつ、国際的に活動する指導的人材を育成する」という教育指針のもと、子どもたちの未来の礎となる大きな志を育てます。

[教育目標]

敬愛

自らを愛する
人を尊敬する
自然を尊敬する

礼儀・礼節を重んじ、相手に対して敬愛の心を表すとともに、自己敬愛の精神を培い、誰に対しても思いやりをもって接する豊かな心を育みます。

剛毅

剛健なる身体
強靱なる精神力

さまざまな行事を通して、強い身体と目的に立ち向かう精神力を養い、仲間とともにやり遂げる自信を育みます。

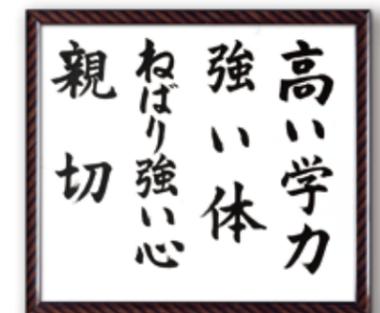
上智

知識と知恵
求道心

基礎学力を重視するとともに、主体的・対話的で深い学びを実現し、一人ひとりの個性を見つめながら、高い学力・豊かな情操の育成を目指します。

[児童目標]

児童目標は各教室に掲示し、全校を挙げた意欲的な教育活動を行っています。





未来を創るリーダーを 育む3つの力

全ての学校生活を通じて、挑戦力・探究力・表現力を伸ばし、
将来、社会の中で影響力を発揮できる人材の育成を目指します。

社会有為の人材育成

挑戦力

挑戦し続ける力

表現力

豊かな表現をし、
自分の意思を伝える力

探究力

自ら学び深める力

COMPETENCY

本校が児童に身に付けさせたいと考える
資質・能力

学校長 井上 恵二



追手門学院小学校では伝統と革新の教育で、世界で活躍するグローバルリーダーを育成しています。そのためには、学習場面や行事を通して、基礎となる資質を養うことが重要だと考えています。私たちはグローバルリーダーとして必要な資質を「挑戦力」「探究力」「表現力」と考え、学校生活の全ての場面で育成することを目指しています。

子どもたちの未来は予測困難な時代だと言われます。歩む道は急速に変化し、時には先が見えないこともあるでしょう。しかし、へこたれず勇気をもって立ち向かっていく力を持ってほしいと考えています(挑戦力)。そして、その道を切り開き、知識や知恵を使って粘り強く真理を追究するのです(探究力)。その過程で、他者と調和を取りながら多様な考えを共有し、創り上げることができる力を養います(表現力)。

追手門学院小学校では、わくわくするような学習環境の中で、この3つの資質を育てたいと考えています。





伝統と革新が 融合する「追小教育」

時代の変化と社会のニーズに応える

「最先端の教育」を子どもたちの未来のために。

追手門学院小学校では、驍をはじめとする伝統を大切にしながら教育と社会の変化やニーズに対応した教育を行ってきました。早期からICT教育に取り組んできたのもその一環です。人との関係を大切にしながら、正解のない課題を解決へと導く能力を備えた、これからの社会に求められる人材を育てます。

読み・書き・計算とICTの活用

学習の基本は「読み・書き・計算」です。本校では、それらの学びをよりわかりやすく、より効率的・効果的に推進するため、教育のデジタル化を図っています。一人一台のタブレットPCを利用し、全教室に大型電子黒板を配備しているのもその一つです。「読み・書き・計算」と「最先端のICT」が本校の学びを支えています。



きめ細かな指導体制が、学力を伸ばす



▷ 教科担任制

教科担任制は、50年の実績を誇る本校先駆の制度です。中学進学に対応する専門の教科担任できめ細かく深い指導を行います。4年生から国語と算数で教科担任を導入し、5年生、6年生では、国語、算数、社会、理科の4教科に広げます。さらに6年生では、進学希望に応じて4教科コース別学習も実施しています。



▷ OTEMON講座

放課後の時間を利用して4・5・6年生の希望者を対象に、本校教員が学年の枠を超えて教科別に指導を行います。国語・算数・社会・理科・英語の5教科の講座で、各教員の専門性を活かし、より深く、興味を引く内容の学習を実施しています。英語科の講座では、英検対策を実施し、児童の英検取得を支援しています。



確かな英語力と グローバルマインドを育成

追手門の英語教育

本校では、1年生からアルファベットを書く練習を始め、聞く、話す、読む、書くの4技能をバランスよく伸ばしていきます。フォニックスの授業では文字と音を関連づけ、英語を見て発音できる力を伸ばします。自分の意見を英語で話せるようになることを目標に、一人ひとりの発話の機会を大切にしています。自分のタブレットPCで調べ、編集し、英語でプレゼンテーションすることもあります。皆、楽しみながらも真剣に取り組んでいます。



英語科 主任 ノエル モリッチ

▷ 英語学習

1年生から週3時間の英語授業を実施。そのうち1時間は、クラスを2つに分け、少人数での学習を行っています。「聞く」「話す」「読む」「書く」の4技能を活用した授業を展開しています。

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
外国語生活	週1回40分	週1回40分				
総合外国語活動			週1回40分	週1回40分	週1回40分	週1回40分
外国語活動*	週1回40分	週1回40分	週1回40分	週1回40分	週1回40分	週1回40分
英語モジュール	週5回10分	週5回10分	週5回10分	週5回10分	週5回10分	週5回10分

*ハーフサイズクラス

▷ イングリッシュタイム

午後学習の時間に、ネイティブの先生による英語の絵本の読み聞かせや、海外での行事の紹介を行っています。話の中からいくつかの単語を取り上げ学習することで、語彙力の向上につながっています。

▷ TOEFL Primary®

本校では世界の初等教育機関で活用されている「TOEFL Primary®」を導入し、3～6年生が受験しています。児童一人ひとりの英語力の把握に加え、世界中の受験者との比較による英語学習意欲の促進にも期待できます。

国際交流プログラム

本校は、ハワイのマノアスクール、オーストラリアのホーランドパークステイトスクール、ソウルの崇義初等学校と各校の特色に合わせた独自のプランで、国際交流を行っています。児童はホームステイや授業参加、文化体験でグローバルな視野を養います。また、インターネットを活用し、直接訪問できない児童も世界とのつながりを深めています。

🏠 マノアスクール

春休みに4～6年生約30名が訪問し、ホームステイをはじめ、授業への参加、ハワイの伝統文化を学びます。2年ごとにマノアスクールからも児童約30名が本校を訪問し、友好を深めています。



🏠 ホーランドパークステイトスクール

4～6年生約30名がホームステイをはじめ、英語やアボリジニーの文化なども学習します。8～9月には教員の交換研修を行い、両校の教育内容の相互理解を深めています。



🏠 崇義初等学校

1983年に親善校として提携し、教員訪問や児童の作品、手紙の交換などを行っており、2011年には本校から初めて児童が訪問しました。また近年は、両校の教科指導について研究を進めています。



国際教育センター SUNプロジェクト始動

世界基準の夢を持つグローバルリーダーを育む

世界で活躍する人材の育成や世界基準で夢をもつグローバルリーダーの資質を育てるため、国際教育センターを令和4年に設立しました。これまで「NIPPON再発見プロジェクト」、「宇宙・未来プロジェクト」、「英語指導者研修会の企画・運営」等の活動を行ってきましたが、コロナ禍を経て、令和6年に第1回SUNプロジェクトを実施することができました。「SUN」とは、Silicon ValleyのS・United NationsのU・NASAのNの頭文字を合わせた言葉で、各所での学びを進めていく予定です。第1回目の今回は、シリコンバレー・スタンフォード大学でSTEAMプログラム（世界各地から参加する同年代児童と一緒に英語で学ぶもの）に参加しました。また、STEAMプログラム終了後には、本校独自のプログラムとして卒業生（107期）であり、京都大学・山中伸弥教授のもとでiPS細胞を研究し、現在IPeace, Inc. 創業者の田邊剛士氏を訪ね、研究内容やアントレプレナーシップなどについて学ぶことができました。

今後も「世界・グローバル・宇宙・人間」をキーワードに先進的な取り組みを展開していきます。



スタンフォード大学にてプログラム修了



IPeace, Inc.にて



本館

主に管理機能を備えています。職員室や110記念ホール、屋上には大小2面のプールを備えています。



110記念ホール



プール



中庭



追手門 学院小学校

施設 紹介



西館/1年生教室

メディアラボ/フューチャーラボ



メディアラボ
360° ツアー



メディアラボ

英語・ICT活用教育の拠点として竣工したメディアラボは、最先端の技術や教育機器を取り入れた、追手門学院小学校のシンボルです。思考力や探究心を育む未来型学習拠点として多彩な施設が揃っています。



English Room



アクティブスペース



PC教室



メディアスペース



書道室

屋上	・青空園
3F	・フューチャーラボ 2 ・English Room
中3F	・ライブラリー ・PC教室
2F	・フューチャーラボ 1 ・アクティブスペース ・メディアスペース
1F	・書道室 ・おうもん広場
地下	・とらの子クラブ ・おうもん石垣ギャラリー



北館

主に中・高学年が使用しています。一般教室に加えて上層階には和室や多目的ホールなどを備えています。



和室



一般教室(中・高学年)

西館

主に低学年が使用しています。一般教室に加えて上層階には理科室やスカイホールなどを備えています。



一般教室(低学年)



理科室



スカイホール



運動場

遊具

子どもたちのために、私たち教員が設計の細部までこだわった建物と設備です。



追手門学院小 学校の春夏秋冬

四季の彩りに満ちあふれた、かけがえのない追手門学院小学校の6年間。
そこには、生涯の友との出会いが待っています。

A Year

[1年の流れ] 児童の成長に合わせた、さまざまな学校行事やイベントが「挑戦力」「探究力」「表現力」を育みます。



4月

- 入学式
- なかよし下校 (1年・6年)
- オリエンテーション (5年)

5月

- 遠足
- 林間学舎(4年)
- 創立記念日

6月

- 体育大会
- プール開き
- 大阪城活動
- NIPPON再発見プロジェクト

7月

- 臨海学舎(6年)
- 水泳教室
- 大野カントリースクール
- 国際交流(オーストラリア)
- SUNプロジェクト

8月

- 水泳教室

9月

- 暑中稽古
- 剣道大会
- 水泳記録会

10月

- 日曜参観
- 音楽・劇鑑賞
- 秋の東鉢伏(3年)
- NIPPON再発見プロジェクト

11月

- 文化祭
- 大阪城活動

12月

- 座禅会
- 宇宙未来プロジェクト

1月

- 桜童展
- 寒稽古

2月

- 後期修学旅行(6年)
- 大阪城活動
- 学用品供養祭
- 球技大会
- NIPPON再発見プロジェクト
- 前期修学旅行(5年)
- 耐寒駆足
- マラソン大会

3月

- 卒業式
- 弁論大会
- 国際交流(ハワイ)

児童一人ひとりの個性と可能性を引き出す毎日が待っています。

[1日の流れ] A Day



クラブ活動

運動クラブ

- 剣道
- アスレチック
- ダンス
- チアダンス
- サッカー
- バスケットボール
- テニス
- ソフトボール
- バドミントン

文化クラブ

- 吹奏楽
- 将棋
- ライブラリー
- 茶華道
- ロボットプログラミング
- 英語
- 日本太鼓
- 科学工作
- 書道



Support

サポート体制

放課後活動/ロボットプログラミング



Location

ロケーション

放課後活動から日常の安全対策、登下校まで、校内外におけるさまざまな支援体制で学校生活をサポートしています。
安全・安心な環境が、健やかな成長を育みます。

放課後サポート 希望者対象

仲間と一緒に、安全・安心な環境で充実した時間を過ごすことができます。

放課後活動

英会話、サッカー、体操、ロボットプログラミングの教室を開設しています。1年生(3学期)から4年生の希望者が参加対象です。



英会話



サッカー

放課後預かり

放課後預かりの場として「とらの子クラブ」を開設し、専任の指導者が最終18時30分まで児童を預かります。授業実施日だけでなく長期休暇中も利用することができます(※お盆・年末年始など一部休業期間あり)。



安全対策

24時間の有人警備体制に加え、校内外の機械警備を完備し、安全を確保。子どもたち自身への安全指導も徹底しています。

方面別下校

入学後1年間は担任教員が主要ターミナルまで引率します。各学年、方面ごとの集団下校制をとっています。

緊急時は「校外班」による集団下校

路線・最寄り駅による方面別の班で上級生が班長・副班長を務め、下級生を引率します。大雨などの緊急下校時には、全学年の児童が揃って下校し、安全確保を徹底します。

ICTの活用

スクリーン

スマートフォンで利用できるサービスで、保護者からの欠席連絡や健康観察報告に加え、学校・学年・クラスからの各種お知らせなど、幅広く活用します。

防犯ブザー・GPS

登下校時の安全確保のため、防犯ブザー・GPS(位置検索システム)の所持を推奨しています。

さくら連絡網

学校からの緊急連絡システムです。LINEやメール等で学校からの連絡が届くため、容易に情報を把握できます。

通行感知システム・ICタグ

登下校時に児童が校門を通過した時点で自動的に保護者の携帯電話へメールが配信される仕組みを導入しています。



大阪城のお膝元、地下鉄・京阪電車の「天満橋」より徒歩約7分、JR東西線の「大阪城北詰」より徒歩約10分に位置し、大阪府下はもとより近隣府県からのアクセスもスムーズです。

※2024年11月現在
※所要時間は「天満橋」駅または「大阪城北詰」駅までの目安です。
※交通状況により変動する可能性があります。

児童通学分布・所要時間

Q. 募集児童の男女比率は決まっていますか？

A. 男女別で人数は決まっています。

入学試験の結果で可否を判断するため男女比は決まっています。在校生の男女比率はおおよそ9：8（男子：女子）です。女子が多い学年もあります。

Q. 入学試験の際に月齢による発達の差異は考慮されますか？

A. 一定の配慮をします。

受験時点の発達段階を考え、月齢による配慮をしています。なお、長年の受験結果を踏まえ、どちらが損でどちらが得ということが無いように調整をしています。

Q. 入学試験での面接はどのように行われますか？

A. 入学試験日とは別の日に保護者のみの面接を行います。

出願の時点で、いくつかの候補から保護者面接の希望日時を選択していただけます。お子さまの面接は実施していません。ただ、面接に代わるものとして入学試験当日に試験官と受験児が1対1で行う口頭試問で、お子さまとコミュニケーションをとらせていただきます。

Q. 送り迎えは必要ですか？

A. 入学直後以降は必要ありません。

入学後の1週間余りは、登下校の道や交通手段の確認を兼ねて付き添っていただけます。それ以降は方面ごとの学年一斉下校で、担任などが各方面の最寄駅まで1年間引率しています。ただし、具体的な安全指導や、防犯ブザー所持の推奨など、在学中の安全対策へのご協力をお願いしています。

Q. 遠方からの通学は可能ですか？

A. 通学の時間制限は設けておりません。

交通至便な立地のため、他府県からの通学も珍しくありません。また、片道およそ1時間30分かけて通学している児童もいます。保護者の皆様のご判断で通学していただいています。

Q. 学校で放課後を過ごすことができますか？

A. 各種教室の開設や、放課後預かりを行っています。

1・2・3・4年生の希望者を対象に、英会話・サッカー・体操・ロボットプログラミングの各教室を開設しています。1年生は3学期からのスタートとなります。また、全学年（1年生のみ5月より）午後6時30分まで放課後預かり「とらの子クラブ」を行っています。（いずれも有償実費制です）

Q. 携帯電話を持たせることは可能ですか？

A. 申請により持たせていただくことは可能です。

ただし、子どもを取り巻くネット環境の安全を考慮してスマートフォンは禁止とし、キッズ携帯を推奨しています。緊急時以外の使用は認めていません。

Q. お弁当が必要な日はありますか？

A. 原則としてありません。

食育を重視し、昭和25年(1950年)より自校調理・独自献立による完全給食を実施しています。ただし、遠足や校外学習などの学校行事の際には、お弁当の用意をお願いしています。なお、給食では7品目(卵・乳・エビ・カニ・タコ・イカ・ホタテ)についてアレルギー対応をしています。

Q. 保護者の学校行事への参加はどの程度ありますか？

A. 月に1回程度学校にお越しいただく行事があります。

学年によっても異なりますが、参観、懇談、体育大会、文化祭等すべてを含めて年間約10回程度お越しいただく機会があります。お子さまの成長を感じていただき、親子のコミュニケーションをとる機会にさせていただきたいと考えています。

Q. 進学指導で大切にしていることは何ですか？

A. 一人ひとりに最も適切と考えられる中学校進学を第一に、指導をします。

小学校の6年間で子どもは大きく成長します。高学年では担任を中心に学年がチームとなって、児童が最も成長できるであろう中学校への進学を全力でバックアップします。進学説明会や進学相談も行っています。

Q. 中学入試に対応するため取り組んでいることはありますか？

A. 本校独自の体制で中学入試への対応を行っています。

①教科担任制の実施

4年生では国語・算数で、5・6年生では国語・社会・算数・理科の4教科で教科担任制を行っています。中学進学に対応する広く深く徹底したきめ細かい指導を行っています。

②独自カリキュラム編成

国語では、各学年で1・2単元ずつ先行学習を行います。また、算数では独自テキストを作成し、応用的な問題にも取り組むことで、より深い内容の学習を行っています。社会や理科では校外学習や実験を多く取り入れ、本物に触れる機会をつくることで、より深い学びにつなげます。6年生の2学期には小学校の学習内容を終え、受験に向けて学習する時間を確保しています。さらに、志望校別での学習も実施しています。

③関西各地の私立中学校との密接な連携体制

卒業生の進学中学校が多岐にわたる本校では、関西の私立中学校を中心に進学指導室が密接な連携体制をとっています。また、実力テストや模擬テストを数多く実施し、積年のデータ分析に基づく進学指導を行います。

合格実績

2022年度(134期)／2023年度(135期)／2024年度(136期)

都道府県	学校名	2022	2023	2024
大阪	上宮学園中学校	1	1	-
	大阪学芸中等教育学校	-	1	-
	大阪薫英女学院中学校	-	-	2
	大阪女学院中学校	3	2	2
	大阪星光学院中学校	9	4	3
	大阪桐蔭中学校	12	12	21
	大谷中学校	6	15	17
	開明中学校	19	14	14
	関西大倉中学校	-	2	2
	関西大学中等部	2	-	1
	関西大学第一中学校	2	3	4
	関西大学北陽中学校	5	9	2
	関西学院千里国際中等部	2	2	1
	近畿大学附属中学校	3	1	3
	金蘭千里中学校	12	11	7
	香里ヌヴェール学院中学校	1	3	-
	四天王寺中学校	9	9	10
	樟蔭中学校	-	1	-
	常翔学園中学校	2	-	3
	水都国際中学校	-	1	-
清風中学校	28	23	29	
清風南海中学校	15	21	8	
相愛中学校	1	1	-	
高槻中学校	5	15	8	
帝塚山学院中学校	12	4	11	
帝塚山学院泉ヶ丘中学校	8	-	-	
東海大学付属大阪仰星高等学校中等部	-	-	1	
同志社香里中学校	2	4	5	
浪速中学校	-	-	3	
初芝立命館中学校	3	10	8	
プール学院中学校	-	-	1	
明星中学校	29	16	26	
桃山学院中学校	1	-	2	
芦屋学院中学校	-	-	1	
小林聖心女子学院中学校	-	1	4	
関西学院中学部	1	3	-	
啓明学院中学校	-	-	1	
甲南中学校	-	8	5	
甲南女子中学校	2	1	-	
神戸海星女子学院中学校	3	1	1	
神戸女学院中学部	2	2	2	
神戸大学附属中等教育学校	-	-	1	

都道府県	学校名	2022	2023	2024
兵庫県	甲陽学院中学校	3	3	1
	夙川中学校	-	1	-
	親和中学校	2	2	-
	須磨学園中学校	1	3	-
	滝川中学校	2	-	3
	灘中学校	3	1	2
京都府	雲雀丘学園中学校	3	-	-
	六甲学院中学校	2	2	1
	大谷中学校	-	-	1
	京都女子中学校	1	-	1
	同志社中学校	-	1	1
	同志社国際中学校	1	1	1
奈良県	同志社女子中学校	1	-	-
	洛星中学校	5	-	-
	洛南高等学校附属中学校	2	3	2
	立命館中学校	-	1	-
	立命館宇治中学校	-	1	1
	龍谷大学付属平安中学校	-	-	1
他府県	帝塚山中学校	33	34	41
	東大寺学園中学校	10	3	7
	奈良学園中学校	3	2	4
	奈良学園登美ヶ丘中学校	-	1	-
	西大和学園中学校	11	5	6
	愛光中学校	9	5	10
海外	岡山中学校	14	21	20
	岡山白陵中学校	-	2	-
	お茶の水女子大学附属中学校	1	-	-
	海陽中等教育学校	3	4	4
	香川誠陵中学校	7	4	6
	片山学園中学校	4	11	6
函館ラ・サール中学校	-	1	-	
北嶺中学校	16	7	9	
海外	海外	-	2	-

内部進学	2022	2023	2024
追手門学院中学校	3	2	7
追手門学院大手前中学校	28	24	29

2025年1月現在

追手門学院中学校

夢を実現するための学びがここにはある



学びを個別化、協働化、プロジェクト化させ、リフレクションと融合させて授業を数多く経験させることで、知識や気づきを得るだけでなく、生徒たちの成長実感や自信につなげることを目指しています。そして、教員は、常に生徒に伴走しています。行事では、丸郷活動という学年を超えた活動の中で育つ関係性を大事にし、生徒の責任感への醸成へとつなげていきます。

進学 POINT

2024年度大学入試合格実績！

- ・国立大学 京大4、阪大2、神大1など58名
- ・私立大学 関関同立186名、産近甲龍416名など1,105名
(卒業生322名 既卒生含む)

追手門学院大手前中学校

日々の面談を通して一人ひとり丁寧な指導で第一志望進路実現へ



今までの自分を「こえる」新しい自分を「つくる」グローバルサイエンス教育で新しい時代を豊かに生きる力を身につけます。「追手門モジュール」の時間では、担任や教科担当者など様々な教員と、進路や教科、学校生活に至るまで、日々面談を実施することで、生徒一人ひとりのやる気をアップデートし、学力向上につなげます。

進学 POINT

- ・8年連続募集定員到達！
選ばれているのには、理由があります。
- ・世界大会常連のロボットサイエンス部
(WRO2022 ドイツ国際大会1位、2018 FLL世界大会総合優勝など)

追手門学院大学

2025年 理工学部開設
文理の枠を超えた総合大学へ



2025年4月、開学以来初の理系学部となる理工学部を開設し、全9学部(理工、文、国際、心理、社会、法、経済、経営、地域創造)と3研究科を有する総合大学へ進化します。それに合わせ、茨木総持寺キャンパスに新校舎が完成し、メインキャンパスへ。文理を超えて学びあう環境のもとで、イノベーションを創出できる人材の育成を目指し、学びを展開しています。

追手門学院大学 茨木総持寺キャンパス
〒567-0013 大阪府茨木市太田東芝町1-1



追手門学院中・高等学校
〒567-0013 大阪府茨木市太田東芝町1-1



追手門学院小学校
〒540-0008 大阪府中央区大手前1-3-20



追手門学院大学 茨木安威キャンパス
〒567-8502 大阪府茨木市西安威2-1-15



追手門学院大手前中・高等学校
〒540-0008 大阪府中央区大手前1-3-20



幼保連携型認定こども園
追手門学院幼稚園
〒560-0084 大阪府豊中市新千里南町1-3-3



追手門学院の教育理念

どくりつじきょう しゃかいゆうい
独立自彊・社会有為

追手門学院教育改革宣言

私たち追手門学院の教職員は
次のとおり教育改革を行うことを宣言します。

1. WIL (Work-Is-Learning) の実現
学生・生徒・児童・園児(以下、「学院生」とする)が自ら学んで行動し、行動して学ぶことを目標とし、それを実現する。
2. 成長の可視化
ポートフォリオによって、学院生の成長を可視化し、対話を通してキャリアの成長を支援する。
3. ICT活用、未来社会対応
ICT活用教育によってAI時代に備え、主体的な学びによって社会の変化に対応する。
4. 教育の質保証
社会に誇ることのできる学院生になるように、教育力を高め、教育の質保証に務める。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS 学校法人追手門学院は
関西SDGsプラットフォームに加盟しています。

入試説明会

要事前
申し込み

学校の中を
みてまわろう！

追手門の
子どもたちって
元気いっぱい
だよ！

入試で使う
ものを実際に
さわってみよう！

第1回

4/19 午前中
(土)

学校説明会 入試説明会 学校見学会

本校の教育方針、教育活動などの学校紹介と、入試の概要、過去の問題の紹介などの入試説明会を行います。その後、本校教員がスクールツアーにご案内します。お子さまの追手門での学校生活をイメージしながら各施設をご覧ください。

第2回

6/14 午前中
(土)

公開授業 学校説明会 入試説明会

全学年の授業を2時間に分けて公開します。授業はいつでも自由に参観していただくことができます。お子さまと一緒に、楽しく積極的に授業に取り組む追手門児童の様子をご覧ください。その後、本校の教育方針、教育活動などの学校紹介と、今年度の問題作成方針について入試説明会を行います。

第3回

7/12 午前中
(土)

学校説明会 入試説明会 個別相談会

本校の学校方針や受験生に望むこと、今年度の面接内容についての紹介と入試問題の解説などの入試説明会を行います。その後、実際に試験会場となる教室で本校教員と口頭試問の練習もできます。また、入試で実際に使用するお箸やひもなどの物品にお子さまが直接触れることができます。

※全ての説明会は保護者の方だけでも参加できます。
※気象警報発令時等の緊急時には説明会(公開授業を含む)を中止いたします。
※説明会は全て事前申し込みが必要です。申し込み方法等詳細はHPに掲載します。

令和8年度(143期生)入試要項

入学試験
9/14(日)

- 〈募集人数〉 第1学年 男女 約130名
- 〈受験資格〉 令和8年4月2日に学齢に達するもの
- 〈入学志願要項〉 本校HPに掲載
- 〈出願期間〉 令和7年8月21日(木)~27日(水)
- 〈保護者面接〉 令和7年9月2日(火)~9月7日(日)※出願時に面接日時を決定
- 〈合格発表〉 令和7年9月16日(火)郵送による
- 〈選考方法〉 知能、運動能力、基本的な生活習慣や生活態度、行動観察、保護者面接

Access

- Osaka Metro 谷町線 「天満橋」駅下車 3番出口より 徒歩約7分
- 京阪電車 「天満橋」駅下車 14番出口より 徒歩約7分
- JR東西線 「大阪城北詰」駅下車 2番出口より 徒歩約10分
- 大阪シティバス 「京阪東口」下車 徒歩約3分

